

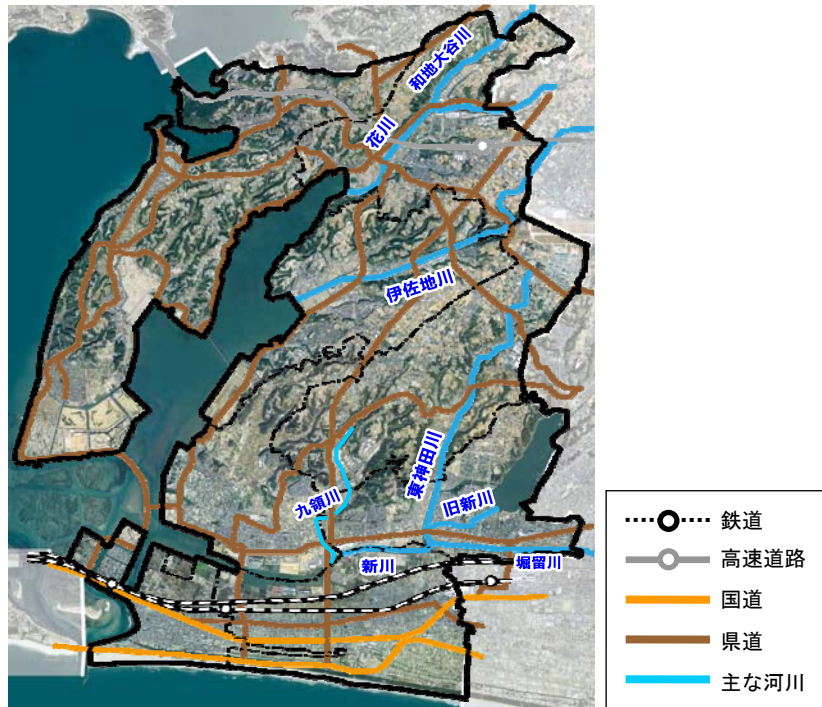
1. 西区の自然条件

資料③

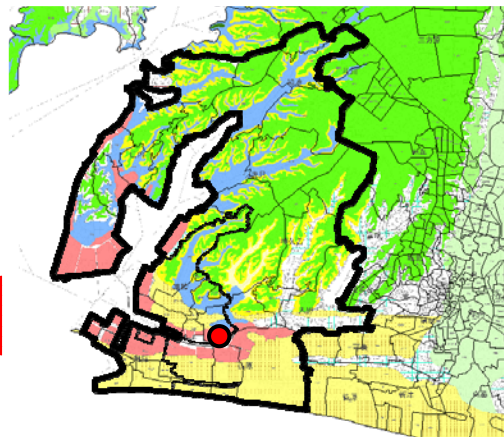
		特 徴
気 象	気 温	・年間平均気温は 16℃前後と県内でも高い気温であり、冬季は晴天日が多いため日照時間も長いことが特徴です。
	降 雨 量	・年平均降水量は 2,000mm で県平均より少ないですが、4～8 月に全降水量の約半分の降雨があります。
	風 向・風 力	・年間を通じて 3m/s 程度の西風（遠州のからっ風）が吹くとともに、冬季には季節風によって乾燥します。
地 形		・三方原台地と周辺の崖や丘陵地、砂堆と堤間湿地を持つ海岸平野から形成されています。村櫛半島も台地の延長となっています。 ・湖岸は新川沿いと並んで埋立てにより形成されています。
地 質		・海岸平野は砂礫層・泥層・砂層からなります。 ・三方原礫層は褐色砂礫層とシルトを主とする層で覆われています。

※砂堆（さたい）：浅い海底の砂州、砂嘴（さし）の一種

※堤間湿地：浜堤（砂浜の海岸線に沿って形成される砂の高まり）の間にできる湿地で、排水が悪く、軟弱地盤である



西区の主な河川



【沖積世 埋立地】
 ・軟弱な地盤となっている所が多く、砂質の所では液状化現象が発生する恐れもある。

【沖積世 泥質/砂泥質/泥砂礫質地盤】
 ・軟弱な地盤の所が多い。

【沖積世 砂質地盤】
 ・比較的強い地盤だが、地下水位の高く緩い所では、液状化現象が発生する恐れがある。

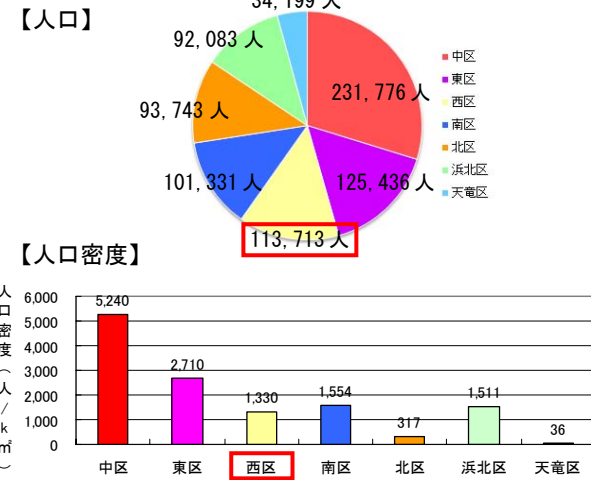
【洪積世 中位段丘堆積物(礫層) / 中・高段丘泥質堆積物】
 ・締まった地盤でほとんど問題はなく、良好な基礎地盤だが、風化が進んだ部分では注意が必要である。

西区の地質（資料：浜松防災マップ、第三次被災想定 表層地質図）

2. 西区の社会環境

①人口・世帯

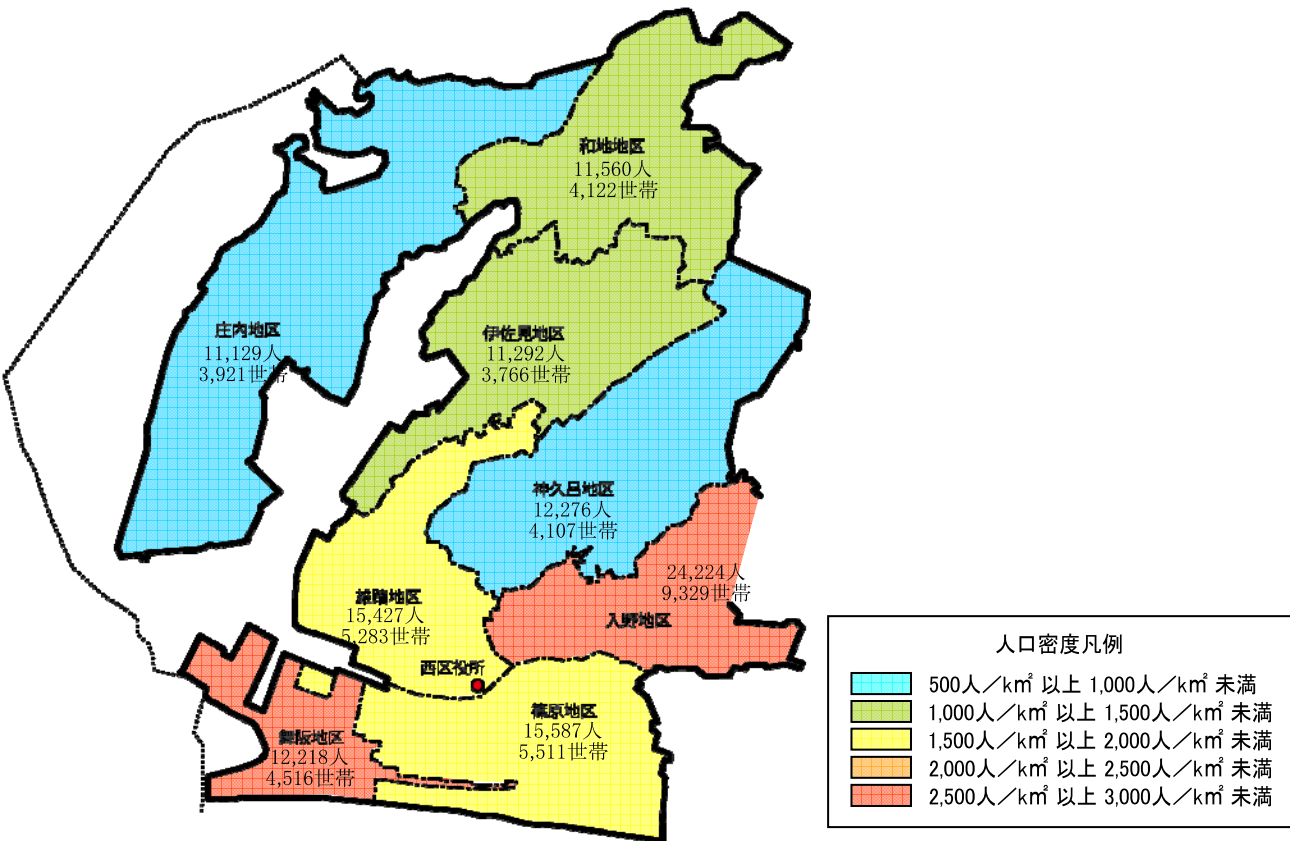
- ・西区は8地区に区分され、区全体の人口は約113,700人（平成23年10月1日現在）となっています。
- ・地区別の人口密度を比較すると、中区に隣接する「入野地区」や「舞阪地区」で高く、山間地に位置する北側の地区で低くなっています。
- ・全市では人口密度が5番目であり、比較的低い値となっています。



■西区における地区別の人口・世帯数

	神久呂地区	入野地区	伊佐見地区	和地地区	篠原地区	庄内地区	舞阪地区	雄踏地区	合計
地区面積 (km ²)	13.30	8.37	10.42	11.06	10.25	19.31	4.61	8.15	85.47
人口 (人)	男	6,380	12,130	5,556	5,684	7,711	5,497	6,093	56,698
	女	5,896	12,094	5,736	5,876	7,876	5,632	6,125	5,7015
	合計	12,276	24,224	11,292	11,560	15,587	11,129	12,218	15,427
世帯数 (世帯)	4,107	9,329	3,766	4,122	5,511	3,921	4,516	5,283	40,555
人口密度 (人/km ²)	923.2	2,894.2	1,083.4	1,045.0	1,520.6	576.5	2,650.3	1,892.9	1,330.4

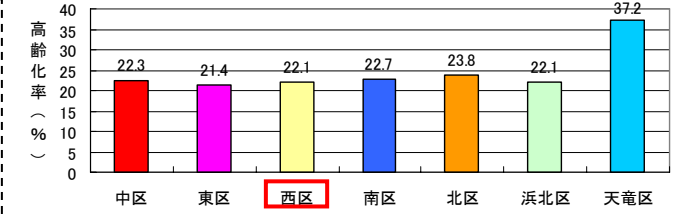
(資料：浜松市統計書、住民基本台帳)



西区における地区別の人口・世帯数と人口密度

②高齢化率

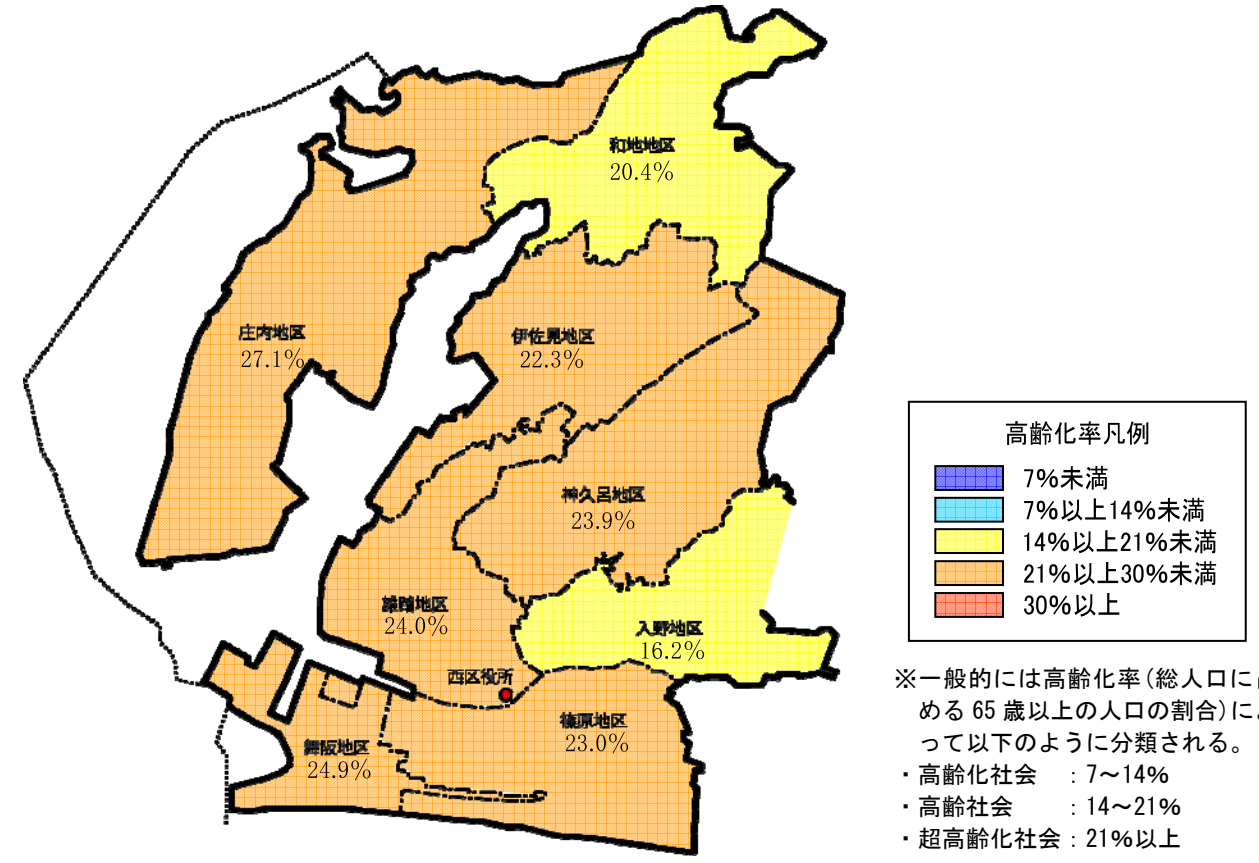
- ・西区全体の高齢化率は約22.1%で、これは市平均値（約24.5%）を下回っています。
- ・地区別の高齢化率は、「庄内地区」が約27%と最も高く、「舞阪地区」も市平均値を上回っています。人口密度の高い「入野地区」については、比較的高齢化率が低くなっています。



■西区における地区別の年齢別人口と高齢化率

	神久呂地区	入野地区	伊佐見地区	和地地区	篠原地区	庄内地区	舞阪地区	雄踏地区	合計	備考
年齢別人口 (人)	15歳未満	1,522	4,485	1,724	2,141	2,250	1,273	1,609	2,380	17,384
	15~64歳	7,819	15,808	7,051	7,062	9,758	6,841	7,572	9,341	71,252
	65歳以上	2,935	3,931	2,517	2,357	3,579	3,015	3,037	3,706	25,077
	合計	12,276	24,224	11,292	11,560	15,587	11,129	12,218	15,427	113,713
高齢化率 (%)	23.9	16.2	22.3	20.4	23.0	27.1	24.9	24.0	22.1	浜松市 24.5%

(資料：住民基本台帳（平成23年10月1日）)



西区における地区別の高齢化率

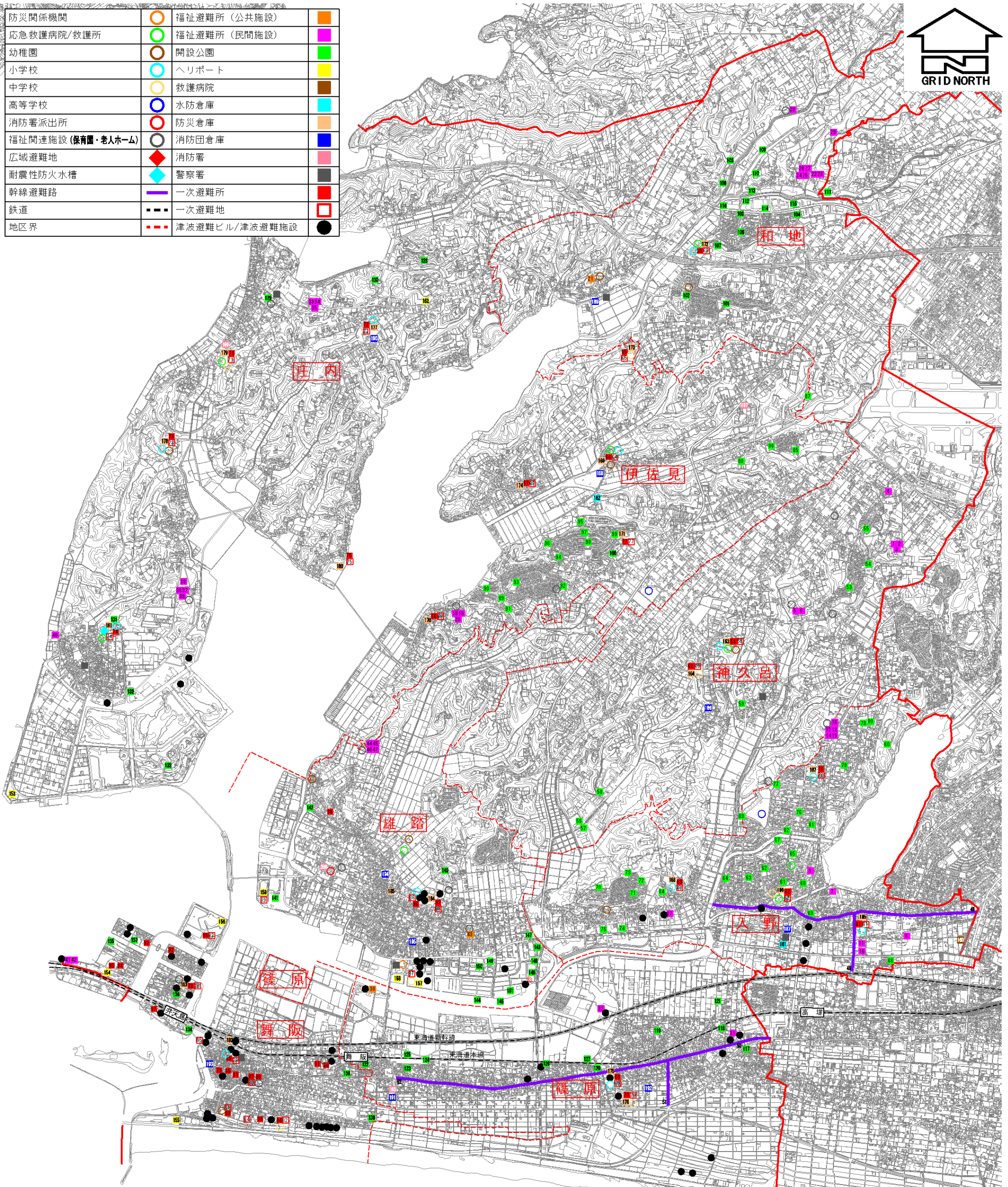
※一般的には高齢化率（総人口に占める65歳以上の人口の割合）によって以下のように分類される。

- ・高齢化社会：7~14%
- ・高齢社会：14~21%
- ・超高齢化社会：21%以上

3. 西区の社会環境 (その2)

③災害に関する施設配置

防災関係機関	○ 福祉避難所 (公共施設)	■
応急救護病院/救護所	○ 福祉避難所 (民間施設)	■
幼稚園	○ 開設公園	■
小学校	○ ヘリポート	■
中学校	○ 救護病院	■
高等学校	○ 水防倉庫	■
消防署派出所	○ 防災倉庫	■
福祉関連施設 (保育園・老人ホーム)	○ 消防団倉庫	■
広域避難地	◆ 消防署	■
耐震性防火水槽	◆ 警察署	■
幹線避難路	— 一次避難所	■
鉄道	— 一次避難地	■
地区界	— 津波避難ビル/津波避難施設	●



【救護病院】
 県医療救護計画に基づき、市町が設置した病院。
 (重症患者及び中等症患者の処置及び受入れを行う。)

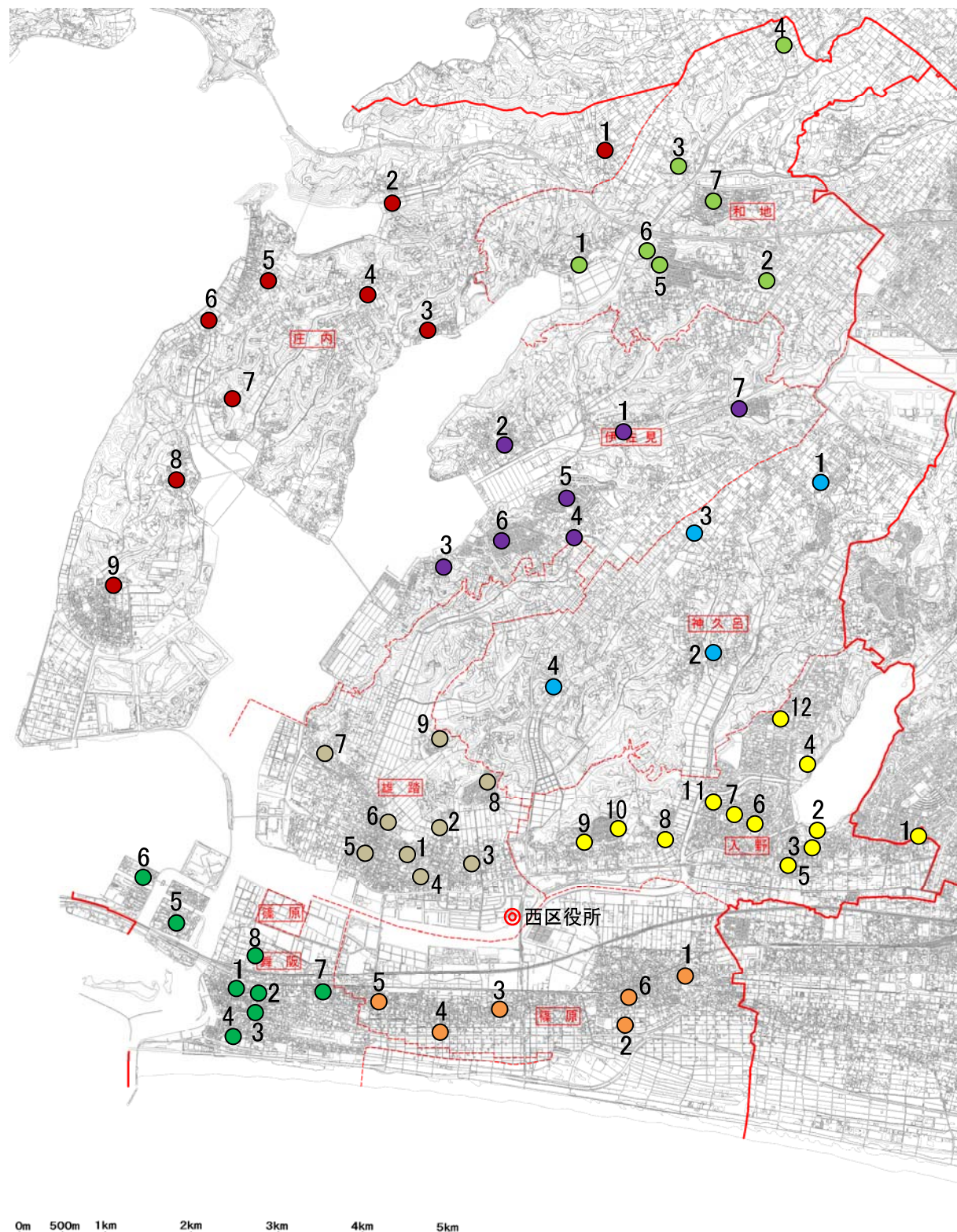
【救護所】
 原則として、軽症患者に対する処置を行う。
 必要に応じて中等症患者及び重症患者に対する応急処置も行う。

【福祉避難所】
 避難が長期に渡り、避難所生活が困難な災害時要援護者を受入れるため、
 市の要請により開設される、災害時要援護者用避難所。

0m 500m 1km 2km 3km 4km 5km
 SCALE 1 : 40,000

④自主防災隊

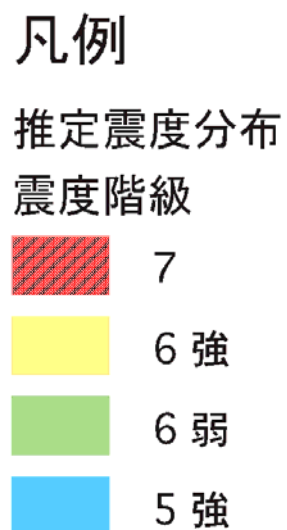
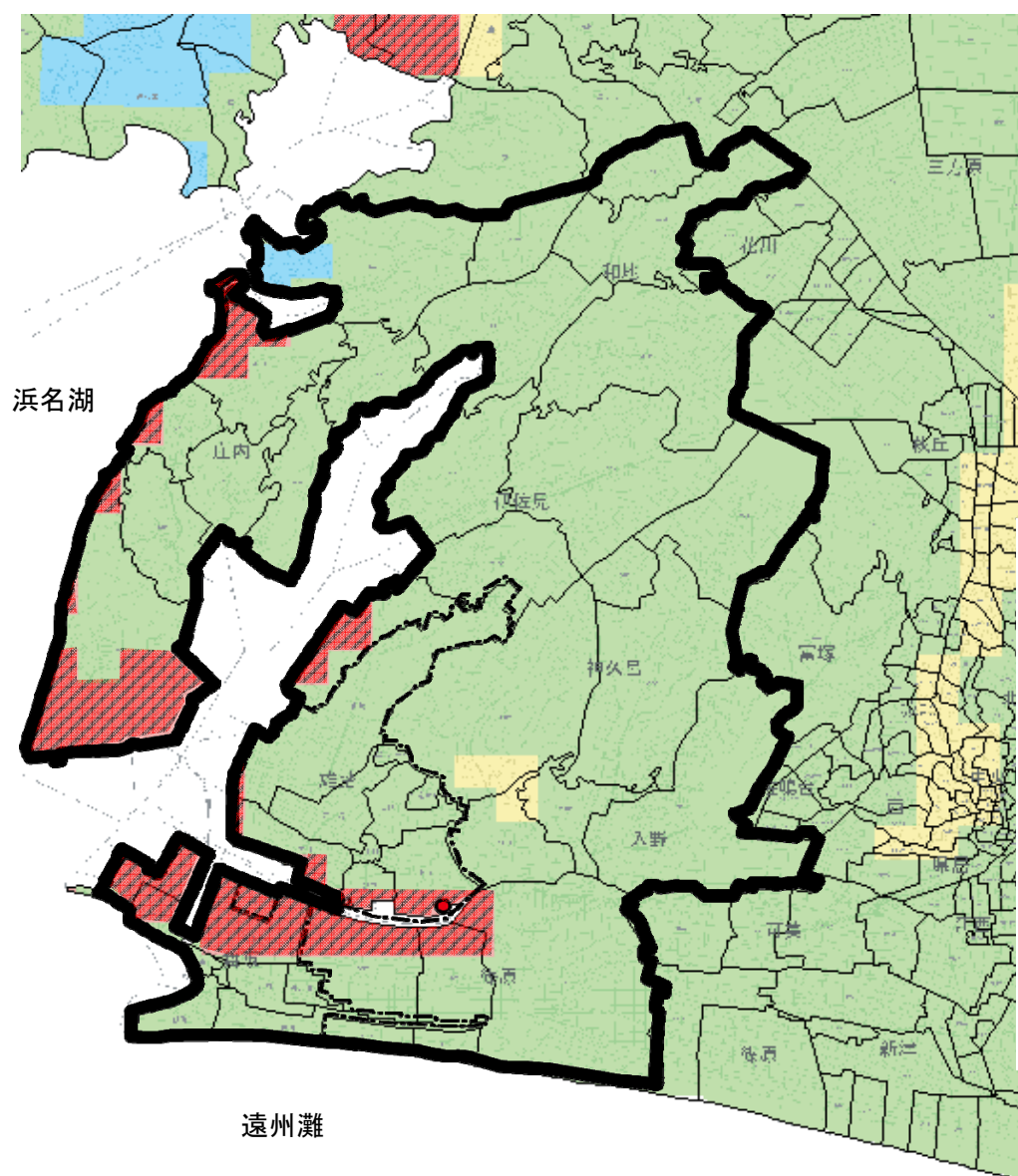
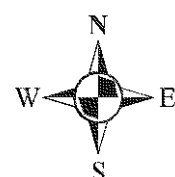
神久呂	図面番号	1	2	3	4							
	自主防災隊名	西山町	神ヶ谷町	神原町	大久保町							
	世帯数	1,886	850	421	506							
入野	図面番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	自主防災隊名	入野町彦尾	入野町本所	入野町道陸地	入野町北脇	入野町田端	入野町臨江山	入野町南平	西鴨江	志都呂町	志都呂団地	県営南平団地
	世帯数	867	640	320	135	790	573	1,454	278	1,300	340	210
	図面番号	12										
伊佐見	自主防災隊名	伊左地町	佐浜町	古人見町	大人見町	ゆう・おおひとみ	瞳ヶ丘団地	緑ヶ丘				
	世帯数	758	230	262	308	617	920	203				
	図面番号	1	2	3	4	5	6	7				
和地	自主防災隊名	和地町	湖東町	大山町	和光町	湖東団地	湖東西	桜台				
	世帯数	364	862	280	142	508	411	1,063				
	図面番号	1	2	3	4	5	6	7				
篠原	自主防災隊名	篠原町東	篠原町西	坪井町	馬郡町	馬郡町舞阪駅前	篠原団地					
	世帯数	1,715	1,287	710	885	367						
	図面番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
庄内	自主防災隊名	深萩町	呉松町	平松町	白洲町	館山寺町	庄内町	協和町	庄和町	村櫛町		
	世帯数	154	281	214	250	830	171	140	217	910		
	図面番号	1	2	3	4	5	6	7	8			
舞阪	自主防災隊名	西町	仲町	新町	砂町	第一弁天島	第二弁天島	長池	吹上			
	世帯数	245	920	710	400	595	648	630	378			
	図面番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
雄踏	自主防災隊名	中村	田端	小山	領家	浅羽	西ヶ崎	山崎	つるが丘	雄踏パーク		
	世帯数	155	246	1,380	478	755	758	680	335	145		



⑤地震被害想定（静岡県第3次地震被害想定（平成13年5月）より）

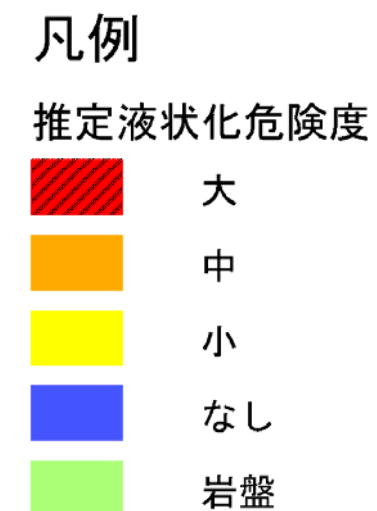
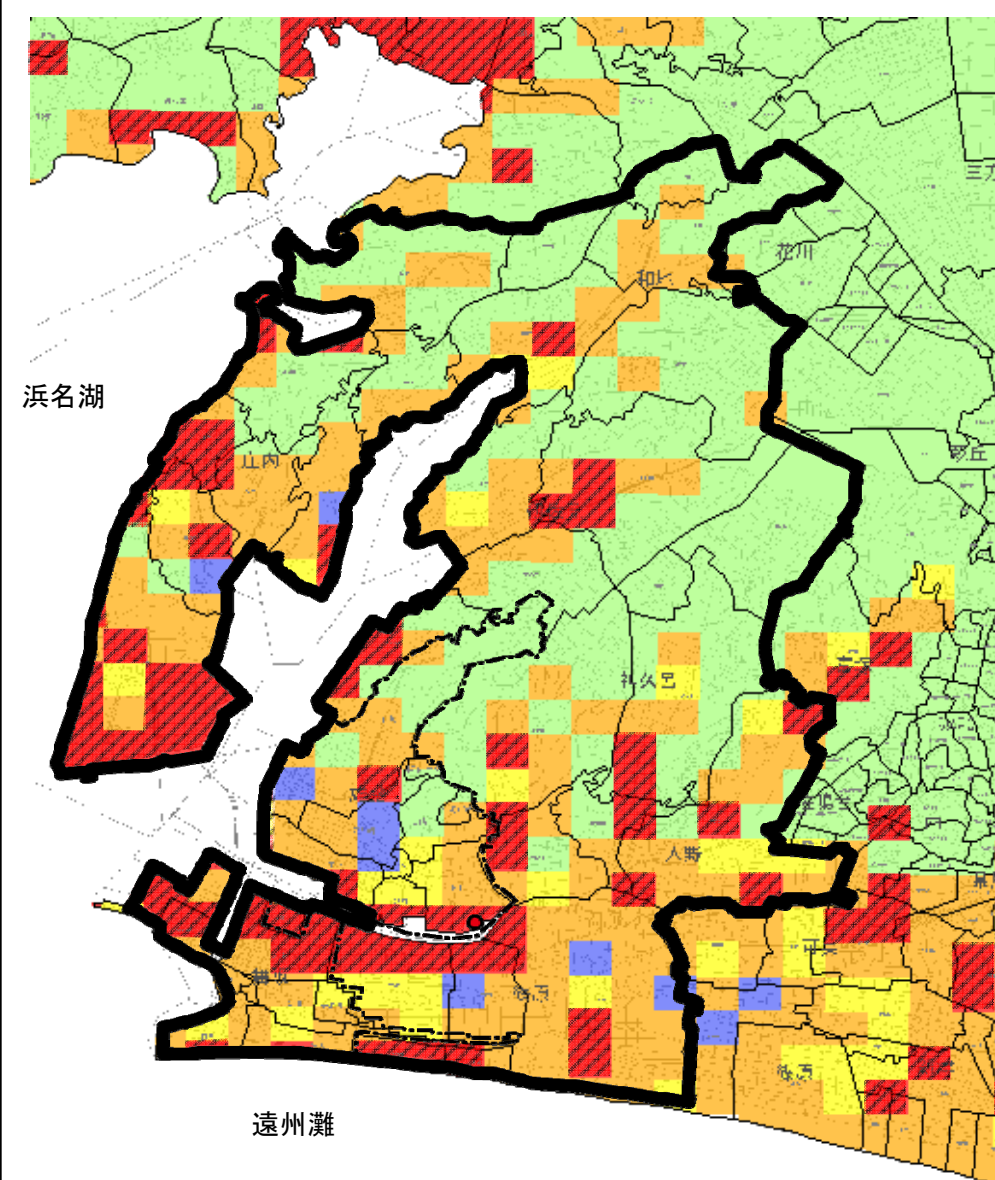
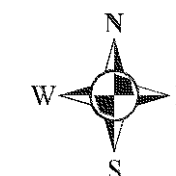
【推定震度分布】

- ・静岡県第3次地震被害想定における、東海地震による推定震度分布は下図のとおりです。
- ・西区は、概ね震度7～震度6弱の推定となっています。



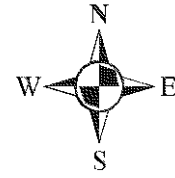
【推定液状化危険度】

- ・静岡県第3次地震被害想定における、東海地震による推定液状化危険度は下図のとおりです。
- ・西区は、浜名湖沿いの埋立地を中心に「大」があるほか、砂質地盤の箇所を中心に危険度が高くなっています。



【山・崖崩れによる建物被害想定】

- ・静岡県第3次地震被害想定における、東海地震による山・崖崩れによる建物被害想定は下図のとおりです。
- ・西区は、一部に被害率1～5%未満の箇所があります。

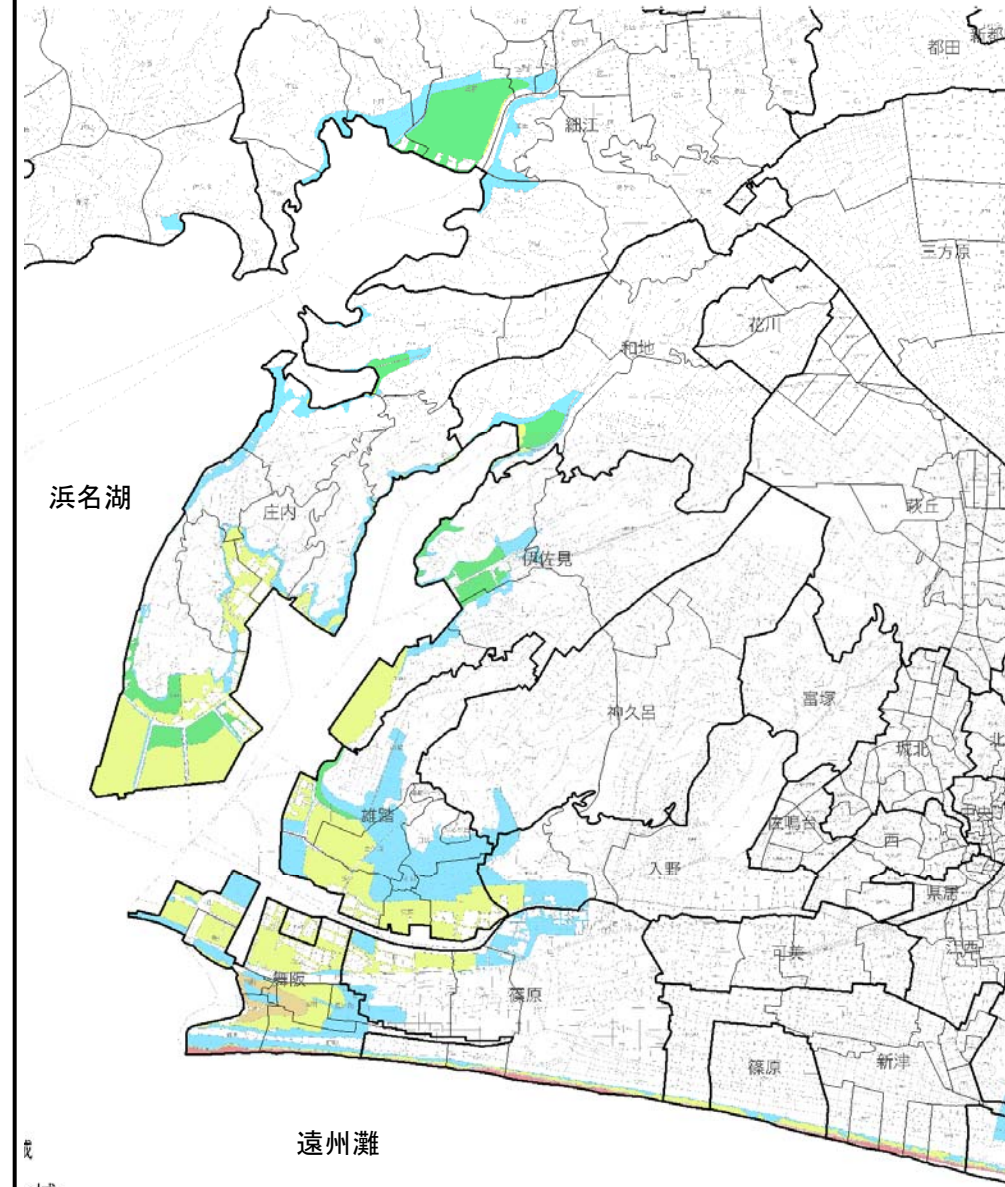


凡例

- 山・崖崩れ被害対象外
- 被害率が1%未満
- 被害率が1%以上5%未満
- 被害率が5%以上10%未満
- 被害率が10%以上20%未満
- 大規模崩壊危険箇所危険度極大(ランクI)
- 大規模崩壊危険箇所危険度大(ランクII)
- 大規模崩壊危険箇所危険度中(ランクIII)
- 大規模崩壊危険箇所危険度小(ランクIV)
- 地すべり危険箇所
- 急傾斜地崩壊危険箇所

【推定津波浸水域】

- ・静岡県第3次地震被害想定における、東海地震による推定津波浸水域は下図のとおりです。
- ・西区は、遠州灘の沿岸部に浸水深2m以上の箇所があるほか、沿岸部を中心に浸水深0～2mが分布しています。



**第三次被害想定
～推定津波浸水域図～**

凡例

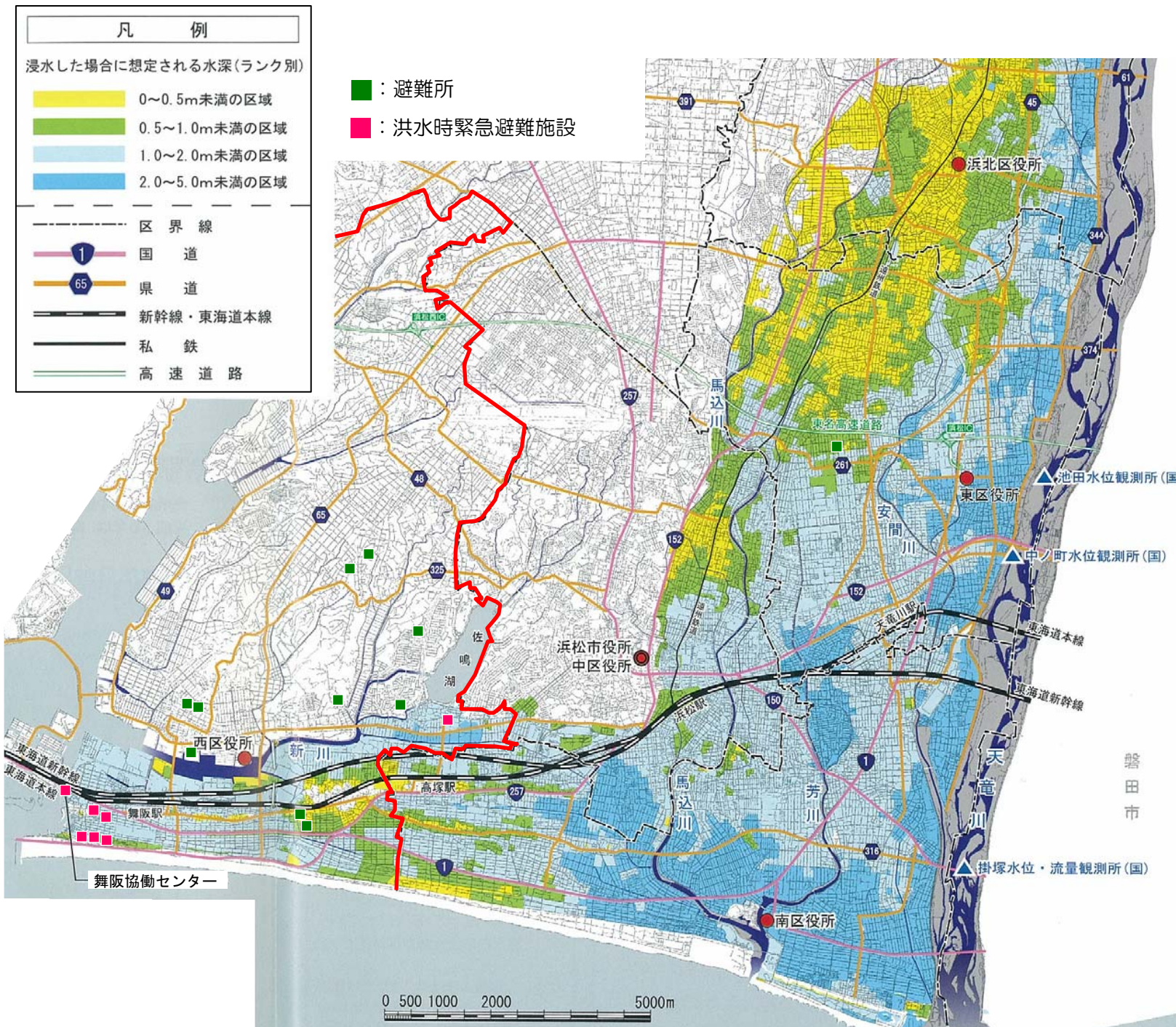
- 推定津波浸水域
- 浸水深2 m以上
- 浸水深1m～2m
- 浸水深0.5m～1m
- 浸水深0m～0.5m
- 水門等開放時の浸水域
- 安政東海地震推定浸水域

※沿岸部の着色が見つらいため、西区の区域界を省略

⑥洪水ハザードマップ

【天竜川の浸水想定区域】

- ・天竜川流域でおおよそ 150 年に 1 度程度の大雨（流域全体の 2 日間の総雨量が 318mm）による氾濫を想定した場合の浸水範囲と水深は、以下のようになっています。
- ・区の新川以南で、浸水深 1.0~2.0mと想定されています。
- ・「避難所」として 10 箇所、緊急時に 2 階以上のみ避難所として利用できる「洪水時緊急避難施設」として 7 箇所の小中学校が指定されています。



■避難所一覧

	名 称	所在地
西区	神久呂小学校	神ヶ谷町3490
	神久呂中学校	大久保町6633
	入野中学校	入野町17059
	西都台小学校	西鴨江町1106
	篠原小学校	篠原町10300
	篠原中学校	篠原町20200-1
	大平台小学校	大平台三丁目6-1
	雄踏小学校	雄踏町宇布見7997-1
	雄踏中学校	雄踏町宇布見9595
	雄踏文化センター	雄踏町宇布見5427

・浸水しない場所、あるいは浸水しても浅い（水深 0.5m未満）場所■にある小中学校等が「避難所」として指定されています。

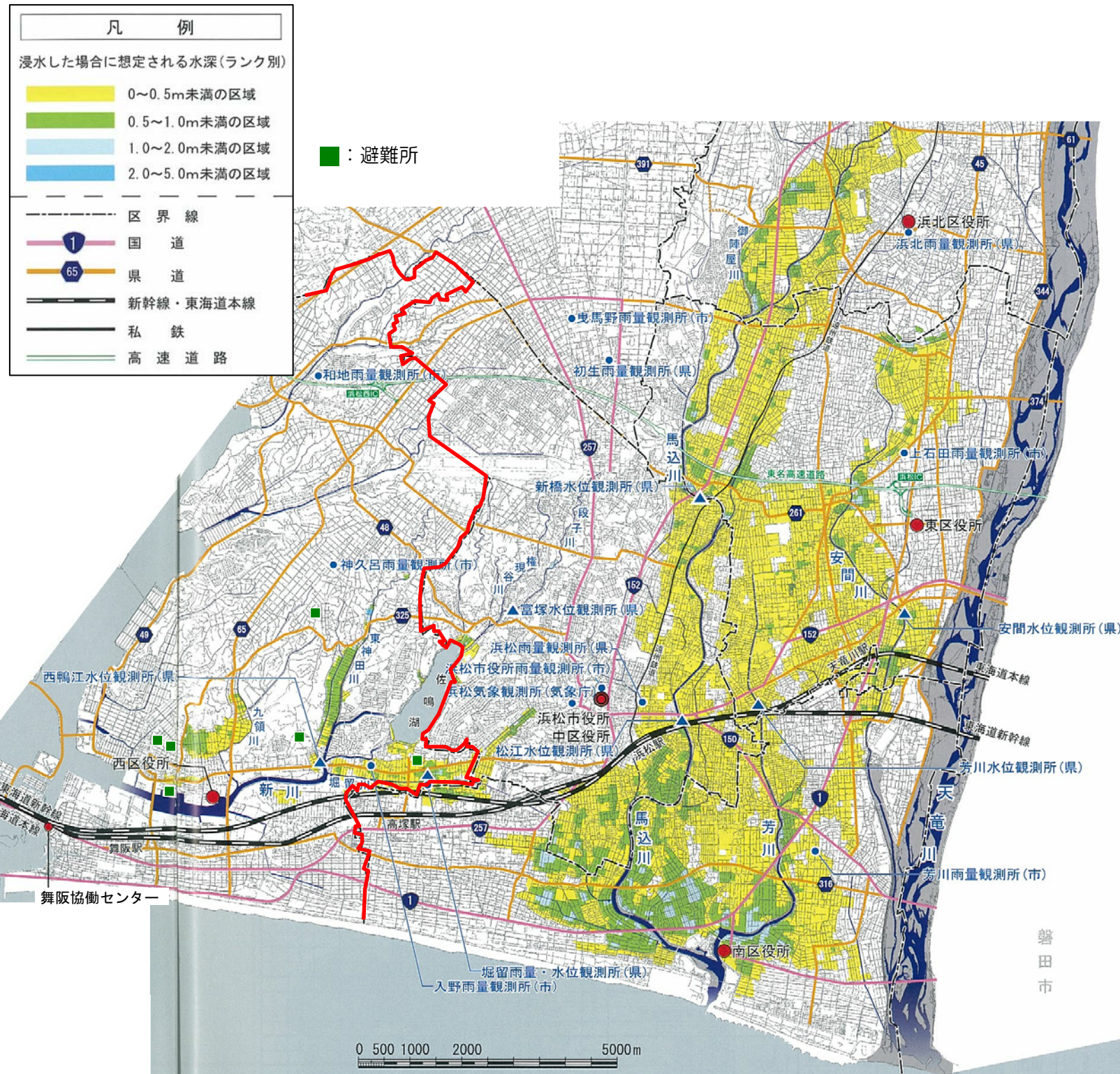
■洪水時緊急避難施設

	名 称	浸水時に利用できる階		
西区	入野小学校	2	3	4
	舞阪小学校	2	3	
	舞阪第二保育園	2		
	舞阪幼稚園	2		
	舞阪中学校	2	3	
	総合体育館舞童夢	2		
	舞阪文化センター	2	3	

・天竜川の氾濫の恐れがある場合、0.5m以上の浸水が予想される小中学校等は避難所として使用できません。
・「洪水時緊急避難施設」は、天竜川が氾濫した時は浸水位が深い場所に立地しているため施設の低い階は使用できず、「避難が遅れた人が緊急的に利用する施設」として指定されています。

【安間川・馬込川・新川の浸水想定区域】

- ・安間川、馬込川、新川の3河川が大雨（安間川：63.1mm/h、馬込川：72.5mm/h、新川：65.8mm/h）による氾濫を想定した場合の浸水範囲と水深は、以下のようになっています。
- ・西区においては、新川の支線である堀留川、東神田川、九領川の周辺で1.0m未満の浸水が想定されています。



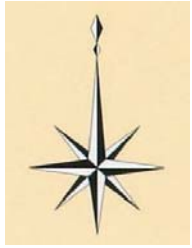
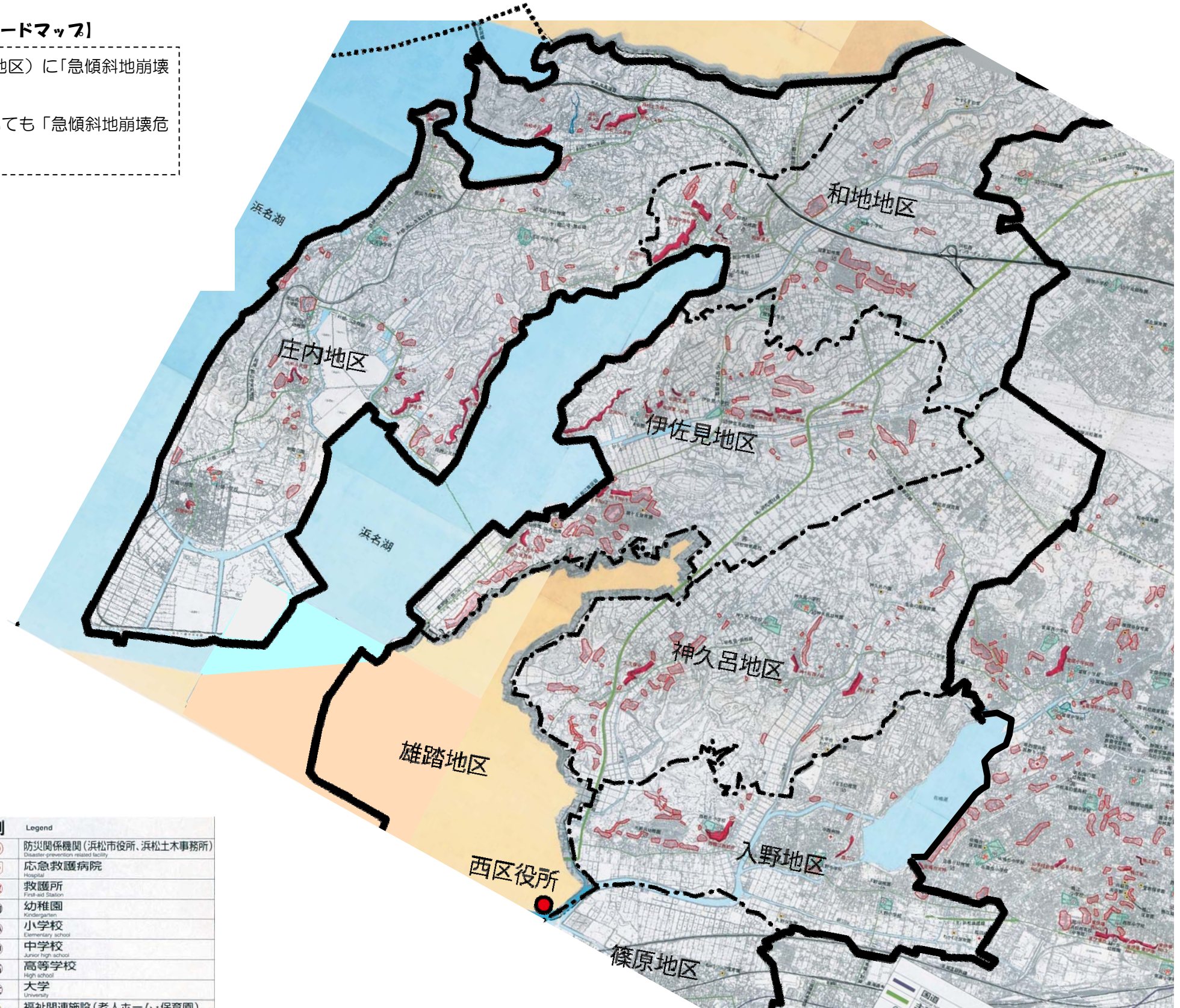
	名 称	所 在 地
西区	神久呂中学校	大久保町6633
	入野小学校	入野町8757
	西都台小学校	西鴨江町1106
	雄踏文化センター	雄踏町宇布見5427
	雄踏小学校	雄踏町宇布見7997-1
	雄踏中学校	雄踏町宇布見9595

・浸水しない場所、あるいは浸水しても浅い（水深 0.5m未満）場所□にある小中学校等が「避難所」として指定されています。

①土砂災害ハザードマップ

【中区、浜松西・浜松北地域自治区ハザードマップ】

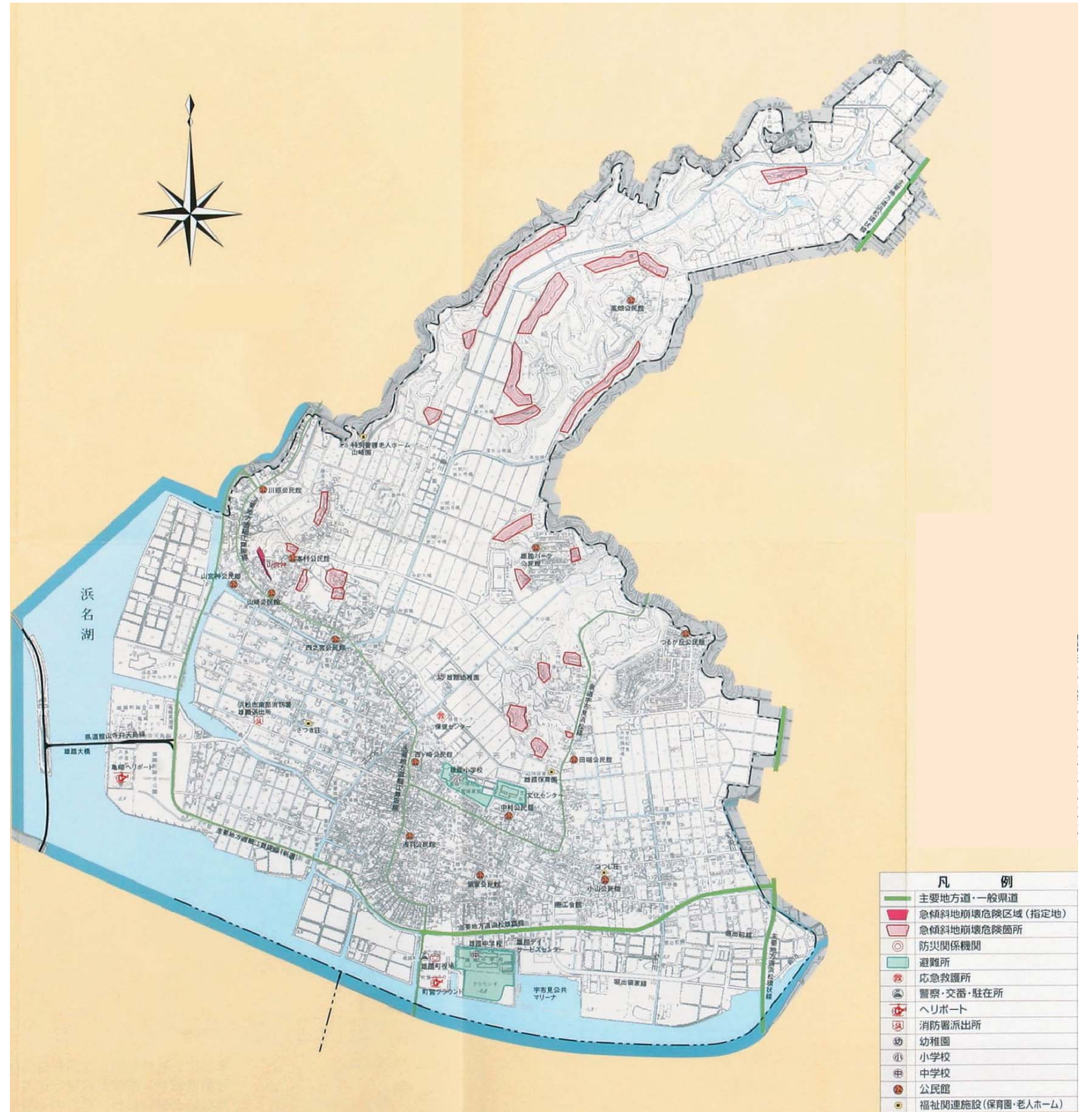
- ・浜名湖沿い（庄内、和地、伊佐見地区）に「急傾斜地崩壊危険区域」が指定されています。
- ・人口密度の高い「入野地区」においても「急傾斜地崩壊危険区域」の指定地域があります。



凡	例	Legend
	国道	National highways
	主要地方道・一般県道	Major local roads, ordinary prefectural roads
	土石流危険渓流	Debris slide high-risk mountain stream
	土石流危険区域	Debris slide high-risk zone
	砂防えん堤	Debris slide barrier
	急傾斜地崩壊危険箇所	Landslide danger spot on steeply inclined land
	急傾斜地崩壊危険区域(指定地)	Landslide danger zone on steeply inclined land (designated area)
	急傾斜地崩壊防止施設	Landslide prevention installations on steeply inclined land
	避難地	Refuge point
	防災関係機関(浜松市役所、浜松土木事務所)	Disaster prevention related facility
	応急救護病院	Hospital
	救護所	First-aid station
	幼稚園	Nursery school
	小学校	Elementary school
	中学校	Junior high school
	高等学校	High school
	大学	University
	福祉関連施設(老人ホーム・保育園)	Welfare facility

【雄踏地域自治体ハザードマップ】

- ・雄踏地区の北側丘陵地の一部において「急傾斜地崩壊危険区域」が指定されています。
- ・避難所周辺は危険箇所もなく、比較的 안전한場所に立地しています。



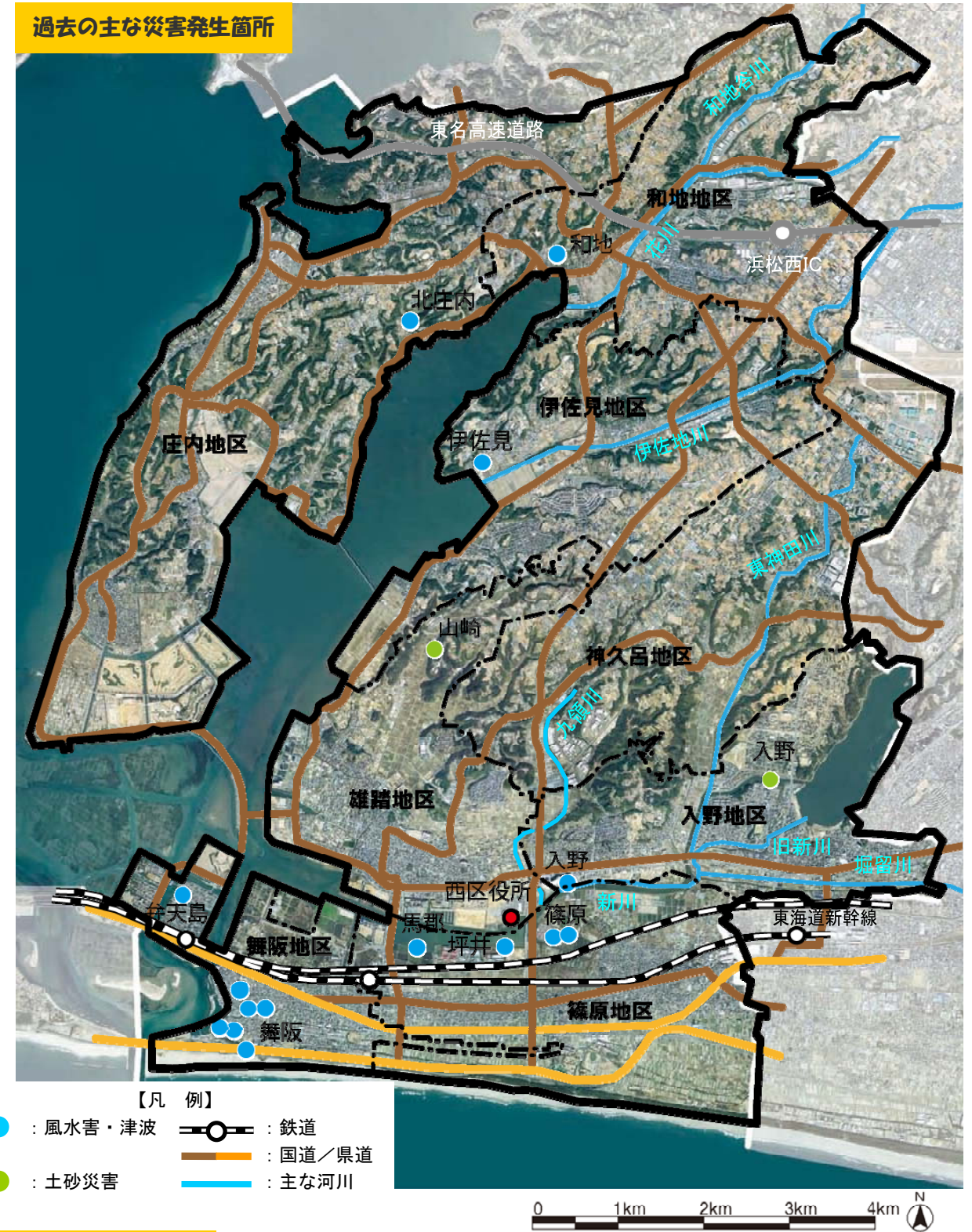
3. 西区における過去の災害履歴

- ・昔から地震に伴う津波や、台風による高潮が発生してきました。
- ・また、豪雨による河川の氾濫の他、丘陵地における山崩れも発生してきたことが分ります。

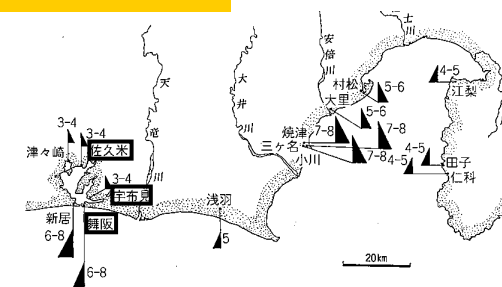
■西区における既往災害履歴

西暦	和暦	災害	災害規模	被害概要	地震	風水害	津波高潮	土砂災害
1498	明応7	明応地震 (推定 M=8.0~8.4)	【震度】5~6 【津波高さ】 ・(舞阪地区)3丈(約10m) ・宇布見(雄踏地区) 推定3~4m	・津波で約300戸流失 ・浜名湖南部では30ha余が海になり、溺死者1万人余と推定 ・浜名湖が津波で切れ海に通じるようになり、湖拡大(今切)	○		○	
1604	慶長9	慶長地震 (推定 M=7.9)	・東海・南海・西海道に大地震・津波被害(舞阪地区など) 【津波高さ】5~6m	・高波打上げ、山際まで船打ち上げ	○		○	
1707	宝永4	宝永地震 (推定 M=8.4~8.7)	【津波高さ】3~5m	・見付・浜松・舞阪は半ば潰れたといわれている	○		○	
1737	元文2	大風雨高波		・舞阪宿の堤打崩れる(舞阪地区)		○	○	
1756	宝暦6	高潮		・舞阪に小被害あり(舞阪地区)			○	
1772	安永1	台風		・宇布見村(雄踏地区)で300戸余、浅羽村で70戸余の潰家 ・川崖堤が破損		○		
1854	安政1	高潮	【高潮】 ・浜名湖岸4尺ないし5尺 【津波高さ】 ・舞阪(舞阪地区)5.6m ・一里塚で2.5m ・弁天島で3~4m ・篠原(篠原地区)で3.9m ・坪井(篠原地区)で3.7m ・馬郡(篠原地区)で3.2m	・流失8戸、潰家8戸、半潰家58戸 ・入野村(入野地区)32戸皆潰れ、死者1人 ・篠原の玉蔵寺の本堂前まで津波が襲来したとの言われあり	○		○	
		安政東海地震 (推定 M=8.4)						
1866	慶応2	大風雨		・浜名湖岸の村々の田畑潮入(雄踏地区)		○	○	
1867	慶応3	天竜川満水 天竜川堤切れる		・山崎村(雄踏地区)入野村(入野地区)で山崩れ(山崎村7、8軒破壊)		○	○	○
1870	明治3	大風		・宇布見(雄踏地区)130軒潰、篠原・坪井(篠原地区)で340軒潰		○		
1912	大正1	台風	【高潮】 ・2m以上の高潮	・和地村(和地地区)、伊佐見村(伊佐見地区)、北庄内村(庄内地区)・雄踏村(雄踏地区)で大被害			○	
1944	昭和19	東南海地震 (推定 M=7.9、震度5~6)	【津波高さ】0.6~3m	・旧雄踏町1888戸のうち全壊15戸、半壊22戸 ・和地で全壊5戸、半壊2戸/北庄内で半壊1戸/南庄内で全壊2戸、半壊12戸/伊佐見で全壊3戸/神久呂で全壊3戸、半壊3戸/入野で全壊34戸、半壊33戸/篠原で全壊38戸、半壊82戸	○		○	
1946	昭和21	南海地震 (M=8.0~8.4)	【津波高さ】 ・(舞阪地区)1.2m ・浜名湖外で1.2m ・湖内で0.6m		○		○	
1952	昭和27	十勝沖地震	・舞阪地区で小さい津波を観測(地震後9~10時間)				○	
1953	昭和28	台風13号	【高潮】 ・浜名湖で潮位上昇1.1m	・全壊10戸、半壊16戸、床上浸水57戸、床下浸水709戸(被害詳細あり)		○	○	
		房総半島沖地震(震度1)	【津波高さ】 ・舞阪地区で8cm(地震後約2時間)					○
1959	昭和34	伊勢湾台風	【高潮】 ・浜名湖で最大水位上昇は1.3m(被害詳細あり) 【津波の高さ】 ・(舞阪地区)約0.6m	・浜名郡で全壊38戸、半壊129戸、床上浸水697戸、床下浸水697戸 ・館山寺線伊目の鉄橋が流失		○	○	
1960	昭和35	チリ地震					○	
1961	昭和36	室第2戸台風		・舞阪地区の防波堤が波で破壊			○	
1971	昭和46	台風23号		・雷雨により床下浸水(舞阪、篠原、入野地区)		○		
1972	昭和47	台風10号	【高潮】潮位上昇1m				○	
1979	昭和54	台風10号	【高潮】潮位上昇1m	・床下浸水45戸(舞阪地区)			○	

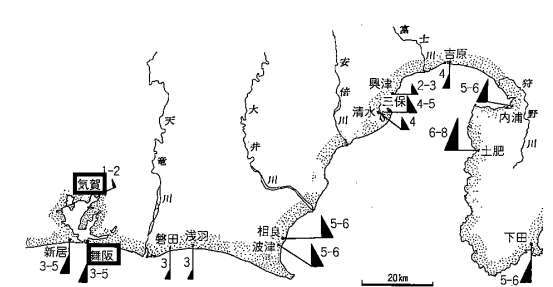
過去の主な災害発生箇所



過去の災害の状況



明応地震時の津波高さ分布 (出典: 静岡県史)

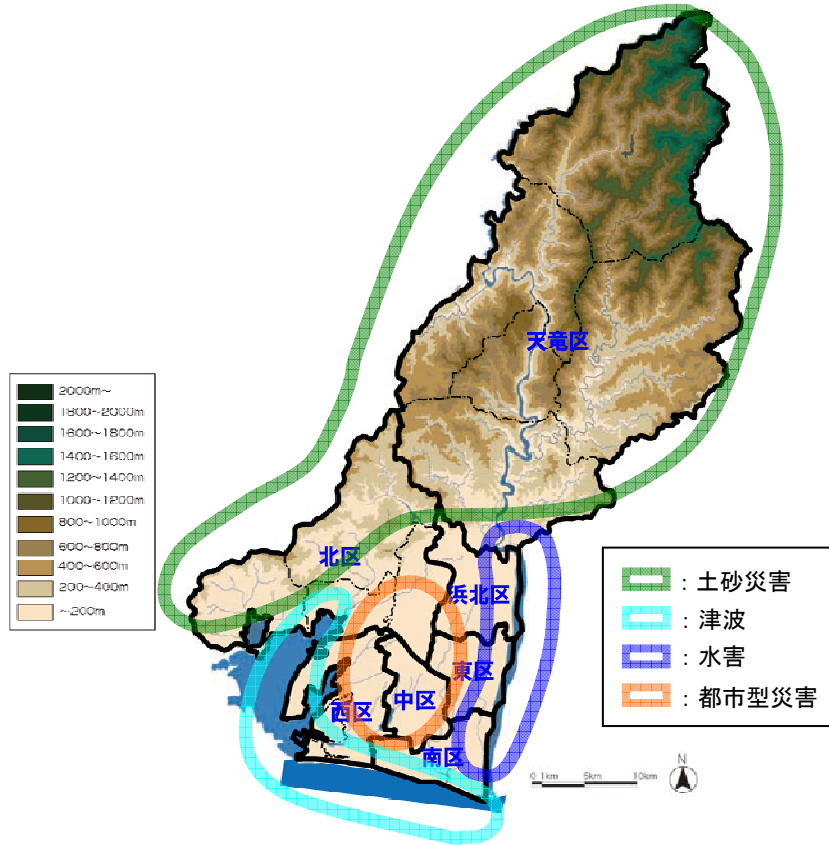


宝永地震時の津波高さ分布 (出典: 静岡県史)

■西区の災害特性

■浜松市の災害特性と区版避難行動計画策定の進め方

- ・浜松市の災害特性は、地形や市街地の形成過程などから、大きくは下図に示すように、「土砂災害」「津波」「水害」「都市型災害」の4つに分類されます。
- ・区版避難行動計画の策定にあたっては、主に区の特徴的な災害について議論しながら進めます。



【自然条件】

- ・三方原台地とその周辺の崖地、海岸平野によって地形が形成されています。また、浜名湖岸は埋立て地となっています。

【災害の履歴】

- ・地震に伴う津波、豪雨に伴う河川氾濫や高潮及び丘陵地の山崩れなど様々な災害が発生してきた地域です。

【ハザードマップ・地震被害想定】

- ・静岡県第3次被害想定では、地震の揺れ以外に液状化や津波による被害も推定されています。
- ・天竜川や新川の氾濫を想定した浸水区域や、丘陵地において急傾斜地崩壊危険区域等が定められています。

■各区の災害特性一覧

区	地震	水害	津波	土砂災害
中区	◎	○		○
東区	○	◎		
西区	○	○	◎	○
南区	○	○	◎	
北区	○	○	○	◎
浜北区	○	◎		○
天竜区	○	○		◎